

利用者から寄せられたご意見（令和2年8月～令和2年11月）を掲載します。

公益財団法人かがわ健康福祉機構では、香川県社会福祉総合センターの管理・運営の参考とさせていただくために、センター利用者の方々に、アンケートやご意見等のご協力をお願いしております。

いただいたご意見のうち、利用者の皆様にご留意いただきたいものや、参考になると思われるものについては、必要に応じて原文の趣旨を損なわない範囲で要約し、個人情報等を除いたうえで、機構からの回答と合わせて公表しております。

今回は、令和2年8月から令和2年11月の間に寄せられたご意見の一部を紹介いたします。

利用者のご意見を、できるだけ今後の運営に生かしてまいりますので、これからも、貴重なご意見等をよろしく申し上げます。

<p>1 香川県社会福祉総合センターの会議室等における新型コロナウイルス感染症対策について</p>
<p>(ご意見等)</p> <p>社会福祉総合センターの会議室を利用したいと考えていますが、新型コロナの感染が心配です。会議の主催者としても感染症対策は実施するつもりですが、会場側としてはどんな対策をとっていますか。</p>
<p>(回答)</p> <p>社会福祉総合センターでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時は会議室の貸出を中止したり、会議室の定員を本来の50%以内にしていましたが、9月19日以降は、本来の定員でご利用いただいています。</p> <p>さて、お尋ねの新型コロナ対策については、県とも協議しながら、現在のところ、次のようなことを実施しています。</p> <p>まず、空調機器の外気導入機能により換気を行うとともに、会議室の使用前、使用後には窓やドアを開けて、換気を行っています。利用者の方にも、会議の休憩時には窓やドアを開けての換気をお願いしています。</p> <p>次に、演台には、飛まつ防止のための透明の仕切板を設置できるよう、用意をしています。</p> <p>また、会議室の使用後には、会議室の机やドアノブをアルコール消毒するとともに、OA研修室のパソコンもアルコール消毒しています。廊下や階段の手すりも定期的にアルコール消毒をしています。各階にも利用者の方が利用できるよう、アルコール消毒液を設置しています。</p> <p>さらに、感染者との接触の可能性を知らせる厚生労働省の「COCOA—新型コロナウイルス接触確認アプリ」や香川県の「かがわコロナお知らせシステム」の利用もお願いしています。</p> <p>一方、社会福祉総合センターの職員も、①マスクの着用、②手洗いや手指消毒の徹底、③執務室の空調機器の外気導入機能による換気、定期的に窓やドアを開けて</p>

の換気等の対策を実施するとともに、健康チェックも行っています。

なお、新型コロナの感染状況等により、これらの対策は、必要に応じて随時、見直しをしていく予定です。

このほか、現在は定員どおりの利用が可能です。いわゆる三密を避けるため、間隔を開けて座席を配置する場合には、1階のコミュニティホールと7階の大会議室を併せて利用し、コミュニティホールでの講演会等の映像・音声を大会議室に生中継するシステムも導入しています。このシステムは、現在、かがわ長寿大学の講義でも利用しています。

このように、社会福祉総合センターでは、利用者の皆さんが安心して利用できるように感染症対策に取り組んでいますので、是非、センターの積極的なご利用をお願いします。